



終戦記念全国戦没者追悼慰霊祭 正午の時報に合わせ黙禱を捧げる

近江のみたま

慰霊のこころを次の世代へ

揮毫 中野幸彦多賀大社名誉宮司

滋賀縣護國神社
崇敬奉賛会

発行所
滋賀縣護國神社社務所
〒522-0001 彦根市尾末町1番59号
電話 0749(22)0822
印刷 近江印刷(株)



第四十一回目となるみたま祭が八月十三日から十五日までの間、開催されました。期間中はご遺族崇敬者を始め、滋賀県選出の国会議員や

県議会議員の方々等、護國神社に思いを寄せる多くの方々にお参り頂き、真摯に英霊に慰霊の誠を奉げていただきました。

今年のみたま祭では「子供達に境内に集ってもらおう」ことに重点を置き、新たな試みとして十四日に「夕市&ビアガーデン」を開催致しました。毎月第三日曜日に境内で朝市を開催していただいている「ひこねで朝市実行委員会」の協力を得て事前に市内主要箇所祭の案内をポスティングし、告知活動を徹底。当日は鮎つかみ体験や和菓



子屋さんのみたらし団子、ヨーヨー釣りや湖魚の郷土料理等、十二店舗の出店があり、お蔭をもちまして境内に子供達の元気な声が響き渡りました(鮎つかみ体験以外は三日間通して出店)。

この催しは来年も開催致しますので、お孫さんやお子さんを連れてぜひご参拝ください。

平和を祈る 滋賀縣護國神社へ



滋賀縣護國神社
崇敬奉賛会
会長
河本英典

今年も豪雨や暴風が各地で大きな爪痕を残していますが、わが国は古来より自然災害に見舞われながらも自然への畏敬の念をもち、自然の恵みに感謝しながら生活を営んできま

した。ところが最近では、核を装備したミサイルがいつ飛んでくるかわからない地政学的リスクをかかえ、平穩な暮らしが脅かされています。あらためて現在の平和と繁栄が英霊の尊い犠牲のうえに成り立っていることを心に刻み、平和の尊さを次世代につないでいかなければなりません。またまに平安を祈り、感謝の誠を捧げることは、今を生きる私たちの大切な務めでもあります。豊かな杜を背景に昨年に開館した滋賀県英霊顕彰館もぜひご観覧いただければと思います。

英霊顕彰を 永久に伝える使命



滋賀縣護國神社
宮司
山本賢司

戦後五十年を迎えた頃、滋賀県遭族会が開催する年次大会での来賓挨拶に強い違和感を覚えました。それは、事務方の作成した原稿を読む代理の方の挨拶文の中に「戦没者諸霊」という文言が出て来たからです。同じ来賓挨拶でも自分の言葉でお話しになる方は、明確に「英霊」と仰るのとは好対照だったので記憶に残っています。

戦後五十年を迎えた頃、滋賀県遭族会が開催する年次大会での来賓挨拶に強い違和感を覚えました。それは、事務方の作成した原稿を読む代理の方の挨拶文の中に「戦没者諸霊」という文言が出て来たからです。同じ来賓挨拶でも自分の言葉でお話しになる方は、明確に「英霊」と仰るのとは好対照だったので記憶に残っています。

に脱出できる高度や速度が無くなったために殉職されたのです。この事に関して、地元の高等学校の校長先生は学校通信の中でこの事故に言及して次のように記しました。「母はわが子のために、父は家族のために命を投げ出して戦います。その愛の対象を家族から友人へ、そして国家へと拡大していった人を我々は英雄と呼ぶのです」と。(工藤雪枝著「特攻へのレクイエム」から)

余りに行政は自ら規制を行い、英霊という言葉で戦没者諸霊と言い換えるようになってしまったのです。靖國神社や護國神社に自治体の代表が参拝を回避するようになったのも同様です。

戦後の米国の占領政策は苛烈を極めたものでした。戦犯処刑や重要人物の公職追放を始め、言論統制は無論、報道機関への規制、教育、法曹界、経済界等、あらゆる分野で厳しい管理統制が為されたのです。それは日本が二度と米國始め連合國に立ち向かわないようにするための日本弱体化計画(江藤淳氏)であり、日本人が抱いていた従来の価値観の破壊でした。また、先の戦争に対する罪悪感を抱くようにする罪扶植計画(藤原正彦氏)でもあったのです。占領基本法を憲法として押し付けたり、大東亜戦争を太平洋戦争という呼称にした事等はその代表的なものでしょう。さらに、七年間の占領を終えた後でも、日本人自らが進んで自己規制を行うように周到に、且つ綿密に準備をして数多の指令を施行した結果、政教関係の訴訟・トラブルを恐れる

時は移り、日本が米國のみならず英仏蘭とも戦ったことすら知らない世代が中心となつている現代では、先の大戦の事は過去の遠い歴史の彼方の、文献や記録でしか解らなくなつてしまいました。靖國神社には幕末・明治以来大東亜戦争に至るまでの戦没者約二百四十六万六千余柱が英霊として祭祀されています。この事実を、英霊という言葉と共に後世に正確に残し伝えなければなりません。戦前と戦後の両方を理解している世代が健在な内にこそ可能な事なのです。私は当神社に奉職以来、護國神社の神職として様々な事業を進めて参りました。英霊顕彰館の建設もその一つです。幸いにも、多くの方々のお力添えを賜りまして昨年十月に竣工・開館の運びとなつた事はまことに慶賀に堪えず、その責任の一端を果たせたのではないかと思つています。



▲お母さんと寄り添って

大人が楽しむイベントは多いが、子供が楽しむイベントは少ない。今回の夕市では、たくさんの子供達が来てくれて良かった。来年も子供が楽しめるよう、参加者が増えるよう工夫を凝らしたい。



▲鮎つかみ体験のようす



山名 弘祐

ひこねで朝市実行委員長

大人も子供も
笑顔になれる催しを

十月十四日、拝殿に於いて御神符頒布始祭並びに頒布式が斎行されました。各ご家庭におかれましては新しいお札をご家庭にお祀りいただき、英霊のご加護を得られまして笑顔溢れる幸せな年を過ごされますことを心よりお祈り申し上げます。

御神符頒布始祭
並びに
頒布式を斎行

本年も十月五日に、ご遺族崇敬者多数ご参列のもと秋季例大祭を斎行致しました。多くの皆様方のご丁寧なる拝礼を受け、英霊もさぞかしお喜びのことと存じます。

秋季例大祭を
斎行



▶宮司より岸田孝一滋賀県遺族会長に新しいお札が授与される



▲秋季例大祭

・ひいおじいさんにあいにきました。
近江八幡市 八歳女の子

・顔も知らぬお父さん、呉の宿で母と共に別れたのが最後。「お父さん」「お父さん」、また、いつの日かパラオの戦地へ行きます。
甲賀市 女性

北九州市 男性

・昨年、鹿児島県内の知覧、万世の平和祈念館にも行きましたが、先人達のお陰で今の日本があると思います。改めてご冥福をお祈りします。

彦根市 男性

・世界平和に、英霊に、ただ感謝するばかりです。

拝観者の声

滋賀県英霊顕彰館が昨年十月五日の開館から一年を迎えました。現在、約三千四百件のお写真の申込みがあり、郡市別に分類して英霊のお写真を展示・掲揚しております。展示スペースは六千件ありますので、お知り合いの方にご紹介いただき、ますますようお願い致します。

滋賀県英霊顕彰館
開館一年



総会の様子

定例総会のご報告

七月二十八日、平成二十九年度定例総会が開催されました。これに先立ち拝殿にて奉告祭を斎行。河本英典会長より山本宮司に奉納金目録(四百万円也・年四回分納)が贈呈されました。引き続きの総会では、各議案満場一致で承認。特別事業として拝殿の御簾の張り替えや樹齢百年を越える水舎横の楠の剪定、自転車お守りの調製を行うこと等が決議されました。

平成28年度一事業報告

(自 平成28年6月1日～至 平成29年5月31日)

- 平成28年
- 6月13日 理事会・評議員会 於 滋賀縣護國神社
 - 7月20日 総会 77名 於 彦根キャッスルリゾート&スパ
 - 9月28日 広報委員会 於 滋賀縣護國神社
 - 10月14日 広報委員会 於 滋賀縣護國神社
 - 10月5日 秋季例大祭 役員参列 於 滋賀縣護國神社
 - 秋季例大祭に合わせ滋賀県英霊顕彰館を開館
 - 10月11日 広報委員会 於 滋賀縣護國神社
 - 10月25日 御神符頒布始祭並頒布式 於 滋賀縣護國神社
 - 10月25日 崇敬奉賛会通信発行 (13,500部)
- 平成29年
- 4月5日 春季例大祭 役員参列 於 滋賀縣護國神社
- ※神社奉納金 年間4回にて400万円を奉納
- ・元旦より彦根城築城410年、おんな城主直虎放送記念特別朱印を開始
 - ・勝ち守りの説明書英訳版を作成
 - ・赤備え兜の絵馬を作成
 - ・インターネット広告を継続 (平成28年度で終了)

崇敬奉賛会会員 現況

会員数 5,373名

(内 訳)

正会員 4,970名
維持会員 184名
賛助会員 55名
特別会員 30名
終身会員 134名

平成29年7月現在

滋賀縣護國神社は今を生きる我々の幸せを願って散華された
滋賀県出身の殉国の「みたま」をお祀りする神社です
末永く「みたま」をお祀りするために崇敬奉賛会へ
ご加入戴きますよう何卒宜しくお願ひ申し上げます

※ご入会を希望される方は、地元遺族会役員又は直接護國神社へ申し出ください。

申込書

※ご希望の所に☑を入れてください

- 正会員…年額 金 1,000円
- 維持会員…年額 金 3,000円
- 賛助会員…年額 金 5,000円
- 特別会員…年額 金 10,000円
- 終身会員…一時 金 100,000円

〒	
ご住所	_____
電話番号	_____
お名前	_____

〒522-0001 彦根市尾末町 1-59
滋賀縣護國神社・崇敬奉賛会 ☎0749-22-0822